

以下、本文-----

マンモグラフィを用いた病巣位置の座標化と分析

1. 研究の対象

2008年1月～2021年2月の期間中、当院でマンモグラフィを撮影された方

2. 研究目的・方法

マンモグラフィは乳房を横方向に圧迫するMLO撮影と上下方向に圧迫するCC撮影が行われます。病巣位置の推定においてはCC像から水平方向位置を、MLO像からは垂直方向位置を推定し病巣位置を座標化することができます。マンモグラフィから計測した座標と乳腺超音波検査による計測座標を比較した研究ではMLO像による垂直方向座標で誤差が生じやすいとされています。その要因としてはマンモグラフィのポジショニングを行う過程で生じる乳房の下垂の影響があるとされます。

今回の研究では乳房下垂の補正を行う方法を考案し、当院でマンモグラフィ撮影をされた方のMLO画像を用いて補正のある場合、ない場合を比較しその有効性を検証します。

今回の研究期間を倫理委員会承認日から2022年3月末日までとします

3. 研究に用いる試料・情報の種類

マンモグラフィ

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

高知大学医学部附属病院 放射線部

〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮 185-1

TEL：088-866-5811（内線：23511）

jm-yohko-y@kochi-u.ac.jp

研究責任者：山田陽子

研究代表者：山田陽子

高知大学医学部附属病院 放射線部 山田陽子